

第1回 魚津市教育振興基本計画策定委員会 会議録（要旨）

1. 日 時 平成27年2月19日（木） 午後7時から午後9時20分
2. 場 所 魚津市役所第一分庁舎2階会議室
3. 出席者 委 員 11名
事務局 11名

4. 議事等 (1) 策定の背景、計画の基本的な考え方、検討の進め方 資料1
参考資料① 参考資料② 参考資料③
(2) 魚津市教育振興基本計画（骨子（案））について 資料2
(3) 魚津市の教育の現状と課題（学校教育の現状と課題） 資料3
(4) 魚津市の教育の現状と課題
(生涯学習・文化・スポーツの現状と課題) 資料4
(5) 今後のスケジュールについて 資料5

5. 議 事

事務局 — 委員に委嘱状交付 —

教育長 開会挨拶
— 教育長あいさつ —（略）

事務局 — 委員の紹介 —
— 会長選出 —
会長に、笹田茂樹氏（富山大学人間発達科学部准教授）選出される。

会 長 — 会長あいさつ —（略）

事務局 — 副会長選出 —
会長が大愛高義氏（魚津商工会議所副会頭）を指名し、委員に承認される。

事務局 — 諮問 —
教育長より会長に諮問文をわたす。

事務局 — 会議の公開について —
会議の公開について事務局より説明する。
策定委員会の都度に、策定委員会の委員の氏名等や、会議録（要旨）を作成し、市のホームページ等で市民に公開する。議事内容の公開に

て、発言者については、発言者A、B、Cという表示で個人が特定できない方法で開示する。

会 長

議事に入る。

議事の（１）「策定の趣旨、計画の基本的な考え方、検討の進め方」及び（２）魚津市教育振興基本計画骨子（案）について、一括して事務局より説明をお願いします。

事務局

— 「策定の趣旨、計画の基本的な考え方、検討の進め方」について説明
資料1 参考資料① 参考資料② 参考資料③—

— 魚津市教育振興基本計画（骨子（案））について説明 資料2 —

会 長

この計画の大事なところは、第４章及び第５章であると考え。配分はどのように考えているのか。

事務局

骨子（案）の第４章及び第５章はこれからの議論を経て膨らませていく予定である。

会 長

第３章に書かれたことをもとに施策を考えていくということか。

事務局

そのとおり。

A委員

これまでの説明では、非常に漠然としてわかりにくい。魚津市での具体的な問題点等を説明してもらいたい。

事務局

この後、魚津市の現状と課題について具体的に説明させていただく。

会 長

それでは、次に、議事の（３）「魚津市の教育の現状と課題（学校教育の現状と課題）」について、先ほど事務局より説明があった、「魚津市教育振興基本計画（骨子（案））」にある、（１）学校教育の①から⑦及び（２）学校教育環境の整備の①及び②まで一括して説明をお願いします。

事務局

— 「魚津市の教育の現状と課題（学校教育の現状と課題）」について説明
資料3 —

会 長

ただいまの説明でなにか質問はあるか。

B委員

国がどのような方向性を持って施策に取り組んでいるのか、もう一度説明してもらいたい。

事務局

参考資料②をもとに説明する。

国は２回にわたって計画を策定している。直近は平成25年6月に閣議決定された、第２期教育振興基本計画である。魚津市は、この第２期計画を参酌して策定したいと考えている。

第２期計画では、①社会を生き抜く力の養成、②未来への飛躍を実現す

る人材の養成、③学びのセーフティネットの構築、④絆づくりと活力あるコミュニティの形成という、4つの基本的方向性を打ち出している。この方向性を踏まえつつ、魚津市の実情に応じた計画を策定していきたいと考えている。

C委員 魚津市の教育の現状と課題についての説明資料（資料3・資料4）は、公になるものか。会議の説明資料としての位置づけか。

事務局 提示した資料は、事務局が考えているものであり、このまま計画にのせる。委員の皆さんから追加等があれば協議してもらいたい。

会長 事務局の説明を受け、「こういった視点が必要である。」とか、「こういった課題がある。」といった意見があればお願いしたい。

C委員 食育について、課題等はないのか。

会長 D委員にお尋ねする。食育についてどのように感じているのか。

D委員 資料3（P8）で、朝食を毎日食べているかについてのアンケート結果が示されている。しかし、きちんと朝食として認識している子どもたちは、どのくらいいるのか疑問である。食事内容の調査を行い、把握された方が良いと思う。

数年前までは、食育について積極的に取り上げられていたが、最近は落ち着いている。食育について、廃れさせてはいけなと感じている。

教育長 魚津市では、（平成24年3月に）「魚津市食育推進計画」を策定し、計画を進めていることもあり、ここでは触れていなかった。教育振興基本計画で取り上げるか、今後検討していきたい。

E委員 資料3（P1・P2）に、幼児教育の現状と課題について述べられている。その中で、今後の課題として「認定こども園の設置が望まれている。」と記載されている。小学校の統廃合は順調に進んでいると思われるが、幼稚園、保育園についても統廃合の計画はあるのか。また、認定こども園の整備計画はあるのか。

事務局 「認定こども園」とは、幼稚園・保育園両方の機能を併せ持つもの。保護者の就労の形態に関わらず対応できることが特徴である。魚津市では、平成27年度に「（仮称）子ども・子育て支援事業計画」を策定する予定であり、その計画の中で、認定こども園を市内東西1園ずつ設置することを記載する予定である。幼児教育の課題では、参考資料として、子ども・子育て支援事業計画についても追加して触れることとしたい。

E委員 （国において）幼稚園は文部科学省管轄、保育園は厚生労働省管轄といった枠組みが取り払われる方向性が打ち出されるということか。

事務局 完全に取り払われるのではない。認定こども園は新しい制度だと考えて

いただきたい。

会 長 他にご意見はありませんか。

B委員

国の第2期教育振興基本計画に掲げられている【基本的方向性1（社会を生き抜く力の養成）】の【成果目標1】にある取組の例として、「道德教育の推進（「心のノート」の充実・配布、道德の教科化の検討）」とあるが、魚津市ではどのように考えているのか。

事務局

資料3（P6）の「③心の教育」では道德に触れていないが、（第4章以降の）具体的な施策の展開では、道德教育を中心に記載する予定である。なお、現在も心のノートや教科書を使って推進しているところである。

会 長

国の基本的方向性として、「学びのセーフティネットの構築」と「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」を掲げている。今回の説明資料では、「⑦家庭と地域（資料3 P14～P15）」に該当すると思われる。近年、家庭間格差が広がり、就学援助世帯や要保護世帯が増えている現状がある。家庭に対してセーフティネットを構築する必要があると感じているが、その点は現状と課題で取り上げていない。その理由は何かあるのか。

事務局

魚津市では、充実しているため、課題として捉えていない。

F委員

就学援助世帯は結構多い。今のところ市できちんと手当してもらっていると考えているが、今後、対象生徒は多くなっていくものと思われる。

数年前に、文部科学省が家庭の経済力と学力の関係性を打ち出してから議論が深まってきた。この計画を策定するうえで検討していけば良いと考える。

会 長

他に意見はないか。なければ次に移りたい。

議事（4）「魚津市の教育の現状と課題（生涯学習・文化・スポーツの現状と課題）」について、「魚津市教育振興基本計画（骨子（案）」にある、（1）生涯学習～（3）スポーツまで事務局より一括して説明をお願いする。

事務局

— 「魚津市の教育の現状と課題（生涯学習・文化・スポーツの現状と課題）」について説明 資料4 —

会 長

ただいまの事務局からの説明で何か意見があればお願いしたい。

D委員

生涯学習ということで、高校卒業後の学習に関わる場所については提供されていると思うが、PR不足だと感じる。また、男女雇用機会均等法により、女性の残業、出張は当たり前になっている。そのような中で、女性が求めている習い事の時間がマッチしていない現状がある。時間的な配慮

や施設の休館日等、柔軟に対応してもらいたい。

食育の話に戻るが、子どものころから習慣づけていくことが大切でないかと考える。食育は教育である。一生に関わる知識として捉えることで、健康維持やスポーツの能力を伸ばし、朝食の欠食解消につながり、ひいては、魚津市の活性化につながると考えている。ぜひとも計画の中に入れていただきたい。

事務局 次回の策定委員会までに内部で検討したい。

A委員 伝統文化、芸術など、子どもたちにもっと見せてあげたいと感じている。市民文化祭などもあるが、他にも機会を作ってもらいたい。

会 長 文化的な体験に触れる機会を増やしてほしいということか。

A委員 そのとおり。

事務局 公民館を利用して、放課後子ども教室や土曜学習を行っている。土曜学習では、継続的に毎月1、2回ほど子どもたちに伝統文化等を教えていただく時間を設けている。そういった機会を利用していただきたい。

A委員 そのような時間があることを知っている人は少ない。もっと周知していただければと思う。

会 長 情報を広く伝える形で、市と関係団体で意思疎通が図れば良い。

事務局 情報提供していきたい。

A委員 舞踊を教えていて感じることだが、子どもの体力が非常に落ちていることに驚いている。学校でも体力をつける方法を考えてもらいたい。

教育長 芸術・文化の継承については、必要だと考えている。学校とも連携を図りながら、学習時間が取れるよう働きかけていきたい。

C委員 スポーツ少年団についてはどのような考えを持っているのか。

事務局 かつて、魚津市のスポーツ少年団の加入率は40%を超え、県内でもトップレベルの加入率であったが、年々減少してきている。しかし、サッカークラブ等、スポーツ少年団に加入していないクラブチームも増えてきており、所属する子どもたちも増えている。スポーツ少年団の加入率をもって子どもの運動する機会を捉えるのではなく、クラブチームの加入状況も併せて把握していきたい。なお、スポーツ少年団も子どもの運動能力を高める一つの手段であるので、スポーツ少年団の種類や活動状況など情報提供を行っていきたい。

G委員 スポーツ少年団に加入している子どもたちは運動能力が高い。しかしながら、スポーツを全く行っていない子どもや苦手な子どもたちも対象にした総合型スポーツクラブがある。魚津市には4つの総合型スポーツクラブがあることから、少しは充実していると思う。

事務局	<p>スポーツ少年団など、自ら参加している子どもは心配していない。逆に家にこもっている子どもたちに運動するきっかけを与えることが大切だと考えている。サッカーや野球ではなく、キャッチボールなど、レクレーションのような体験をとおして、運動に親しむ機会を与えられれば良いと考えている。</p>
会長	<p>先ほどからの協議を踏まえると、市は情報提供を積極的に行っていくことや、市民のニーズにマッチした内容を検討すれば良いと考える。</p>
E委員	<p>公民館は無料で利用でき、また、夜遅くなれば鍵を貸与するなど対応している。サークル活動や催しなど、子どもたちや高齢者にも利用を呼び掛けている。様々な活動を行っているので、利用者の増加につなげていきたい。</p>
会長 事務局	<p>学校教育との連携について事務局から何かあればお願いしたい。 第2回策定委員会では、この計画の基本理念、基本目標、施策の展開において、学校教育との連携方法や先ほど述べられた食育、芸術文化活動の発展、また、国や県の計画との関連性等について、内部で検討していきたい。なお、第2回策定委員会の前に皆様に内部検討の結果を示すので、それを踏まえて協議を行ってほしい。</p>
F委員	<p>国から日本の伝統・芸術文化、ふるさと教育の振興について、学校でも取り扱うよう言われており、それを踏まえて進めているところである。 学校運営については毎年2月頃に一年間の計画を立てるため、そのタイミングで様々な情報を得ながら、計画に組み込んでいければと考える。出来るだけ子どもたちに芸術・文化活動等に触れる機会を与えたい。</p>
A委員	<p>「県民ふれあい公演」等で学校を回っている。魚津市でも子どもたちに見せたいと考えているので、検討していただきたい。</p>
会長	<p>各機関と連携し、情報を共有することが非常に大切である。</p>
H委員	<p>生涯学習の施設として、博物館や公民館など、いろいろ述べられているが、今後行われる小学校統合を踏まえ、学校跡地を生涯学習の場とすることを今後の課題として盛り込んではどうかと思う。</p>
教育長	<p>少し戻るが、「⑦家庭と地域（資料3 P14～P15）」の現状の中で、学校週五日制のモデル地域について触れられているが、土曜授業のあり方については見直しが進んでいる。国は、土曜授業の復活については教育委員会の判断にゆだねるとしているが、この点（土曜授業のあり方）についても課題に盛り込んでみては、と考える。 学校週五日制が実施されるにあたり、魚津市はモデル指定を受け、全国に先駆けて取り組んできた経緯がある。土曜日に学校が休みとなることで、</p>

「子どもたちをどのようにするのか。」との方策の一つに、「地域との連携」をあげた。主に公民館を中心とした活動を行うことで、「子どもたちを地域で育てて行こう、守って行こう」といった機運が高まっていった。こうした経緯を経て、子どもたちの土曜日の過ごし方として、特色あるサークル活動を行うなど、各公民館の活用する形が出来上がっている。

このような状況の中で、(土曜授業については) 現在行っている土曜日の子どもたちの姿をどのように変えるか、あるいは、教職員の体制をどのようにするかなど、解決しなければならない問題がたくさんある。国の動向を見ながら考えていかなければならないと思っている。

事務局 市の方針は、学校跡地について、公民館機能を有する地区の拠点施設とすることを基本方針としている。今後、施策の展開で学校跡地の具体的な活用方法を記載していきたいと考えている。

会 長 他に意見はないか。

E委員 学校教育に戻る。塾や習い事については触れられていない。授業以外の学習時間のアンケート結果が記載(資料3 P4)されているが、これは、塾における学習時間も含まれているのか。また、塾や習い事についての調査は行っているのか。

事務局 「授業時間以外に、平日1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。」との問い(資料3 P4)についてのアンケート結果には、塾での学習時間も含まれている。また、魚津市の中学生がどれくらい塾に通っているかについては調査したことはない。

F委員 塾に通っている中学生について、3年生になれば6割程度だと思われる。

会 長 他に意見はないか。なければ次に移りたい。次第の(5)、今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

事務局 — 「今後のスケジュールについて」について説明 資料5 —

会 長 ただいまの事務局の説明では、基本理念、基本目標、施策の展開について事務局で内部検討し、第2回策定委員会前に委員の皆さんに提示すること。委員の皆さんは提示された内容を踏まえ、次回の協議に臨んでいただきたい。以上をもって、本日の策定委員会を閉会する。